

夜間学校

釜ヶ崎夜間学校
西成区菰之茶屋 2-5-23
解放会館2階

釜日労・争議団 気付

みんなで つくる
みんなの 会館
連帯を形あるものに

今夜7じより
西成市民館
毎週金曜日

田中角栄と 公共事業

わしらの「角栄問題」を考えてみよう。

矢月の12日に、ロッキード事件の主人公、田中角栄は、めでたく(?)実刑4年の有罪判決をうけた。この判決に対して角栄は、いささかもひるまず、堂々たる居直り「所感」を発表して、世の良識ある(?)人々から集中非難と批判をあびている。特に、新聞をはじめとする

マスコミは、連日「政治倫理」の確立をヒステリックにかなりたて、角栄の退陣を要求している。そこで、わが夜間学校でも、こうした時流にとりかきこまないように、今回はこの「角栄問題」を皆で大いに論じてみたい。と言っても、「政治倫理」などとい

う、わけのわからぬ、うさんくさいテーマにはまったくわしらは興味がない。ふだん、わしらをさんざんこけにしているマスコミの言うことなどは、大部分でタラメなのだから、「角栄問題」の本質も「政治倫理」の確立などにはないことはたしかだ。では、わしらにとっての「角栄問題」の本質はどこにあるのか。夏祭り中に行なわれたアンケート調査によれば、角栄氏は釜の仲間にはそれほど評判は悪くない。すくなくとも、天皇や中曾根よりも評判がよろしい。たとえ

ば、「それなりの実力がある」、「田中の時は仕事があった」、「道路がよくなっ、てありがたい」、「もう一回総理大臣にしたい。立派なもんや。」などの意見があった。このような仲間の評価は、おそろしく、「ブルドーザー田中角栄」公共事業の増大「わしらの仕事が増える」といったイメージからうまいたのではないだろうか。すなわち、角栄の「列島改造論」(公共事業の増大)はわしらに仕事を与えてくれたという判断が、角栄氏の釜における評価を高めているようだ。だが本当にそうなのだろうか。本当に「角栄時代」は釜の仲間にとって良き時代だったのか。公共事業は、わしらの生活を本当にゆたかにしてくれているのか。自前の南争よりも政府の手でくれる「仕事」の方がわしらをゆたかにしてくれているのか。もういちど考えてみよう。

夜間学校

をどいうするかにっいての

久しぶりに テーマを決めずにいろいろなことを話してあげてみました。差別問題から心の動きまで

雑談いろいろ

ど、もう二ヶ月もたったら仕事はなくなるから業者も強気や。下

昨日、仕事に行ったら、上の人から、西成から来たというな

「なんでもそんなに差別されるんか」

「人間、誰しもある心のプレをどう考えるのかというのが大きな課題やと思う」

「セネターが上げさせんいうのもあるで」

「あいかわらず、差別はきついで帰ってきた」

「現場で日産入小通知票が必

「今日の11時から厚生省の精神衛生実態調査が行われて、精神障害者の生きる場が、ますます狭ばめらゆることになる」

「夜間学校では、もっとむつかしい、酒飲んでで自慢できそう

「ケがしたとか、ドツカしたとかいうのは、ちがってバカにされたということの、解決はなかなかむつかしいな」

「現場で日産入小通知票が必

「今日、11時ごろセンターを歩いていたら、単価七千円の飯場のクルマが、ギョウヤんとまっ

「文集も、長いこと出てないんで、何とか出したいと思うけどみんな原稿かいてや」

「腹がたつたんで、余計な金つかうてしもたわ、せやからとい

「今、仕事してないんや、ノイローゼ気味かな、釜ヶ崎ではい

「こんな状態やったら、単価を上げたええのに」

「勉強したいなと思わせなあか

「あいかわらず、差別はきついで帰ってきた」

「現場で日産入小通知票が必

「今日、11時ごろセンターを歩いていたら、単価七千円の飯場のクルマが、ギョウヤんとまっ

「文集も、長いこと出てないんで、何とか出したいと思うけどみんな原稿かいてや」

「あいかわらず、差別はきついで帰ってきた」

「現場で日産入小通知票が必

「今日、11時ごろセンターを歩いていたら、単価七千円の飯場のクルマが、ギョウヤんとまっ

「文集も、長いこと出てないんで、何とか出したいと思うけどみんな原稿かいてや」